



田中ひろき 後援会だより

三原市議会議員

2022年(令和4年)秋・冬号
No.19

新春の候、皆さまにおかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

前号より、紙面を刷新し年2回の発行とさせて頂いています。皆様へは市政の状況と活動状況をわかりやすくお伝えしたいと思っておりますので、引き続き宜しくお願ひ申し上げます。

1. 9月・12月定例議会で質問しています！

定例議会の一般質問は、次の4件について行いました。以下に質問の要点を示します。詳細はYouTube、後援会ホームページ、市議会だよりをご覧ください。

(1)(2)9月、(3)(4)12月議会に質問しました。

(1) 航路運賃助成の継続を

三原港と鷺港の一人当たり運賃が平成3年4月より約37%増となり710円になりました。激変緩和措置として値上げ額の回数券を本年度まで島民に配り、令和5年度に半額にして終える方針です。助成の継続を要望しました。

- 対象は70歳未満で70歳以上は高齢者補助あり
- 助成総額は約220万円/年程です

【質問1】周辺の同距離航路運賃と比べると極めて高く、距離の遠い尾道港へ行くのに560円であることに、市としておかしいと思わないのか。



【市答弁】市民には地域の状況により応分の負担をいただいており、航路のみ恒常的支援は困難。

【質問2】離島は船が唯一の移動手段である。他地域と同じ考えとすれば222円が妥当。応分の負担になつていいのではないか。

【市答弁】車と船は違う。

*市は市民の公平性を強調していますが、基準も明確でなく、高額の航路運賃を妥当とする市の姿勢に大きな疑問を感じました。

(2) 長期環境テーマとして藻場再生の取組を沿岸の藻場再生の必要性を提案しました。

理由1：漁獲量がここ10年で半減している。豪雨の影響で、河川から大量の土砂が海に流入し藻場が喪失しているのが原因である。

理由2：海に面する本市のCO2吸收源として沿岸の藻場再生に取り組むことが、カーボンニュートラル政策に繋がる。

【質問1】本提案に対する市の見解を問う。

【市答弁】有効な手段と考えるが、効果算定が確立されておらず、国等の動向を注視する。

*本市はゼロカーボンシティ宣言をしただけで、中長期方針が見られません。尾道市は10月に藻場再生の取組を発表しました。常に後塵を拝しています。

(3) 居心地が良く歩きたくなる街中づくりを

本市中心市街地の賑わいはどんどん失われ、駅前の地価はピーク時の1/10まで下落しています。人通りも平成29年から横ばいで、中心部をどうしようとしているのか行政の考えを問い合わせました。

【質問1】駅前は綺麗になったが、その他の中心部道路脇は雑草が伸びて放置してあるところが目立ち、歩行者が不快に感じる。どのような管理をしているのか。



【市答弁】歩行等の安全上問題が生じる通報が市民からあれば、除草や清掃を実施している。

【質問2】中心部の魅力を作るには、街中の環境美化は必須である。通報があってから清掃するという後ろ向きの姿勢ではなく、積極的に環境美化に取り組む姿勢に変えるべきではないのか。

【市答弁】積極的な環境美化を進めることは重要であり、今後地域のみなさまと取り組んで行く。

*その他、①船入檻跡に関する事項、②市民大学の学生さんの課題、③内港再生計画の重要性等を問い合わせました。

*本市中心部の衰退を止めるには、歩きたくなる空間づくり、街中の価値づくりが必要です。環境美化を含め、どうやって価値を作っていくのかを考える必要がありますが、具体策を示せないのが現在の市政です。

(4) 廃校等の利活用に向けた取組状況について

廃校等の民間活用を進めるため、本年4月に条件を満たせば1/10の価格で売却できる条例を制定しましたが、その後の取り組み状況について問い合わせました。

【質問1】民間活用の進展が見られない。どのような情報発信や誘致活動をしているのか。

【市答弁】財産管理課が担当し、売払いや貸付ができる財産を3つに区分して、市ホームページで公表している。

【質問2】文科省も活用を推進しており、企業誘致や地域活性化の成功事例も多々報告されている。もっと関係部署と連携して積極的な誘致活動をすべきではないのか。

【市答弁】全庁的な課題あるいは施策実現の必要性が生じた場合に、体制は検討する。

*なんとも受け身で、条例制定はしたものの活用する気があるのか疑問が生じる答弁でした。この体質を変えるのはトップの声ですが、その様子もありません。

2. 議会トピックス

◆ 令和3年度決算の状況

本市の財政状況は、良くもなく、悪くもなく、膨らんだ地方債の返済が少し進み、黒字分を財政調整基金へ約6億円積み増しができています。

逆に言えば緊縮財政で、将来に向けた投資が抑えられています。人口減少が加速する中、無駄を省き、力を入れるべきところは入れるべきです。

「現状維持は衰退と思え！」。将来を見据え発展させる経営感覚が自治体にも求められています。

◆ 水道事業広域連携企業団への参加承認

広島県水道企業団への本市参加が承認されました。

将来に向けて一抹の不安もありますが、メリットとデメリットを比較し、賛成に投票しました。

10年間の料金維持、災害対策の強化、安定供給が図られる計画ですが、計画から外れていかないかチェックしていきます。

◆ 下水道料金の値上げ承認

令和5年度から使用料が20%、令和8年度から30%引き上げられることになりました。来年度から国の交付金5.1億円がなくなるためですが、県内でもトップレベルの使用料金となるのが残念です。

下水道は独立会計事業ですが、「生活しやすいまち三原」を目指すなら、一般会計予算からの繰り入れも可能とすべきではないかと思います。

◆ 旧ゆめきゃりあセンターに歴史資料館移転へ

一般質問等で移転拡充を提案してきましたが、この度詳細設計に入ることが決まりました。

小早川隆景公史料の展示を中心に、本市の歴史が学べる施設になる予定です。歴史と民俗資料を分離して、民俗資料は久井の資料館へ集約します。

私の政策提案の一つが、また形になりそうですが、駅北の歴史文化ゾーンに位置する集客拠点にする必要があります。東西への寺社巡りの拠点として、また、駅と港湾を結んで、人の流れを作る施設として重要ですが、児童クラブも併設する構想はいただけません。

◆ 敬老会補助の見直し

高齢化率の上昇及び高齢化人口の増加により、令和6年度より敬老事業補助金の見直しが実施され、これまで、町内会等で75歳以上に敬老会実施2,600円/人、記念品配布2,000円/人が補助されていましたが、1,500～2,000円/人に減額される予定です。

◆ 消防屯所や格納庫の統廃合

消防屯所や格納庫の統廃合が進められています。中央方面隊屯所(宮沖)、幸崎分団北屯所、須波分団屯所、沼田西分団屯所、大和東屯所が順次整備される計画です。

3. 経済建設委員会の活動

◇経済建設委員会委員長として活動しています。

9月定例会で、1年間にわたり議論を重ね、取りまとめた「**政策提案：新規就農の促進に向けた支援体制の強化**」を議会として議決し、市長に提出しました。

離農者の増加や農家の高齢化が深刻化する中で、若い新規就農者を呼び込み、就農して生計が成り立つ仕組みを提案したものです。

＜提案内容＞

- ①実地研修で使用する農地・施設を新規就農時に継続使用できる仕組みを構築する
- ②新規就農時の農地や施設を賃貸借できる仕組みを構築する
- ③新規就農時に必要な施設の建設費用にかかる補助制度を導入する

4. 活動報告&お知らせ

(1) 航路運賃助成継続要望の署名を市長へ

9/14に、鷺浦町内会長と須ノ上区長と、集めた署名5,052筆を市長に渡し、運賃助成の継続をお願いしました。

しかし、残念ながら回答は一般質問の答弁とまったく同じで、公平性を根拠に助成を打ち切るとの回答でした。署名し応援いただいた5,052名の方に申し訳なく思います。

(2) フェリー案内板の修正整備

フェリー航路が変更になって1年が経っても、三原港、須波港の案内表示の変更がなされておらず、お客様の間違いが生じていることから早期修正を依頼し修正が完了しました。また、向田港の案内表示も分かりやすくするように依頼し、整備が完了しました。

(3) 田野浦団地法面補修工事の完成

平成 30 年の豪雨災害時、団地の南側法面水抜き穴より土砂が流出し、空洞が各所に確認されていましたが、要望していた補強工事が 10 月に完了しました。



(4) 島民参加のサギセミナーセンター活用ワークショップ開催

9/28 に、島民 21 名や市職員、関係団体の方にも参加いただき総勢 30 名で、センターの問題点や活用についてワークショップを開催しました。

5 つのグループすべてが、島の貴重な宿泊施設として存続させ、活用幅を広げる取組をすべきとの意見でした。

現在、有志数名で活用幅を広げる検討を始めています。



(5) インターン生を受入

3 年ぶりに学生インターン生を 3 名受入れ、「広島みはらプリン」をブランド化する方策について研究しました。

ターゲットを若い女性に絞り、食べて情報発信してもらうため、大学でのイベント販売を商工会議所に提案し、10/13 に安田女子大学で 1 回目の販売を実現しました。400 個が 2 時間で完売し、今後も定期販売することになりました。



(6) 広島商船高等専門学校との情報交換

広島商船高専と 3 年前から情報交換を行い、本市の政策に反映できないかを模索しています。現在 2 件について、検討しています。

- ①離島における新たな交通システムの導入に関する研究（岡山教授）
- ②三原での海の環境教育とアマモ再生の取組について（岸講師） ➡ 9 月議会一般質問で取り上げました。

5. あとがき

みなさんは本市の状況をどのように感じておられるでしょうか？ 私たちの住む三原をどうしていくのか方向性が見えないところに不安がよぎります。

年を明けて市長の施政方針が出されます。夢のある方針と政策が示されるのか、注目したいと思います。

みんなさんのご意見をお聞かせください！

- ・市政について
- ・普段の生活の中で気付いたことや問題点など
- ・将来のためにこうすべきだ 等々
お気軽にご連絡ください！

＜連絡先＞

〒723-0017

三原市港町三丁目 16 番 13 号

携帯電話：090-7137-0440

FAX：0848-64-8911

E-mail：h.tanaka1@kem.biglobe.ne.jp

<https://www.tanakahiroki.info>

＜田中裕規 プロフィール＞

- ・東京農工大学工学部大学院卒
- ・元帝人株社員
- ・三原市防犯連合会会長
- ・保護司



田中ひろき後援会だより発行責任者：武郷康則